



女流・言葉涼し

●ことば・すずし とは...
意味：ものの言い方がいさぎよい
きっぱりしたものの言い方である

女性の地位向上のためには、
まず女性自身が能力や人格の完成を世に証明することだ。

津田梅子

津田梅子の存在を初めて知ったのは、高校の同級生が津田塾大学に進学した時です。英語の能力に長けていた友人が進学したこともあり、創立者の梅子は英語教育の第一人者だろうと解釈していました。実際、梅子は幼少の時から長期間アメリカに留学し、帰国後津田塾大学の前身である女子英学塾を創立しています。

冒頭の言葉は、梅子が帰国後、日本社会における女性のあり方そのものに落胆していたときの言葉だそうです。梅子の目指した女性の立場は、現在のフェミニズムとは違い、女性の権利を主張し要求する前に、女性が自らを高めなければならないというものでした。闇雲に権利を主張する女性は、逆に女性の尊厳を損なうことになるからです。こうした梅子の考えは少しずつ浸透していき、数多くの女性がその能力の高さや人格の完成を証明した結果、今の時代は格段に女性の地位が向上したように思います。

この言葉を今回選んだのは『権利を得るためには、まず義務を果たすべきだ』というこの考えが、女性の権利だけではなく様々な物事に通じるべきなのに、ここ最近の権利と義務の関係が極端にアンバランスになってきているのではないかと感じていたからです。権利を放棄してしまったり、権利だけを主張して義務を果たしていなかったり、そんなこと

が多くなっているように思います。例えば、参政権。形骸化してきている選挙に対して、投票に行かない人も多くなっています。選挙の意味を間違えて捉えてしまって『自分が投票しても何も変わらないから』と思っているのか、すでにある権利には執着がないのかは分かりません。しかし、こうして権利を放棄してしまった結果が今の日本の現状だと考えると、権利と義務の関係は適度なバランスを保つことが必要ではないかと思えます。

権利と義務の関係は家庭や職場などいろいろな場所で存在し、これにより世の中はつながっています。従って、権利と義務どちらかが大きくバランスを崩すとその一方に負担がかかったり、世の中の仕組み自体に不具合が生じたりすることとなります。しかし、世の中のつながりを考えると、権利と義務が1：1と考えるより、相手や社会全体への思いやりもこめて義務は少し多く果たすほうが丁度よいバランスなのかもしれません。今ある権利を当然のものとするのではなく、権利があることに感謝をしつつ、権利のおかげでより生活しやすくなった環境の中でそれぞれの義務を果たしていくべきではないでしょうか。

執筆：橋本 明日香

JTCからのお知らせ

各期限のお知らせ

[3月]

21年分 所得税の確定申告及び納付	3月15日(月)
21年分 贈与税の申告及び納付	3月15日(月)
21年分 個人事業者の消費税等の申告及び納付	3月31日(水)

[4月]

軽自動車税、固定資産税(都市計画税)の納付	4月中において市町村の条例で定める日
-----------------------	--------------------

JTC NEWS

『医療コラム』創刊

今月よりクリニックの先生を対象とした『医療コラム』を発行することになりました。

数々の起業支援・人事コンサルティングに携わってきた黒木拓生を中心とする医業コンサルティング部が、毎週その時々話題についてコラムを掲載します。巡回時に持参しますので、ぜひ楽しみに！